

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和5年4月27日

提出区分	実績	整理番号	2	課題区分	C		
横断的な課題	「体験」と「交流」を軸とした「地域の特長を生かした広域観光」の推進【観光地域づくり】						
地域重点政策	地方回帰の流れを踏まえた交流人口増加の取組					長野地域振興局	
実施機関	長野地域振興局			担当課	所属	企画振興課	
事業名	長野地域に移住したくなる移住虎の巻作成事業				電話	026-234-9501	
					E-mail	<a href="mailto:nagachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp">nagachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp</a>	
事業の概要	目的 (目指す姿)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を機に地方回帰の機運が高まり、移住者の獲得に向けて市町村間での競争が激しくなっていることから、管内市町村が移住先・二地域居住先として選ばれるよう、長野地域全体の「移住・二地域居住」の魅力PRを行うことで、市町村移住政策の支援を行う。					
	現状と課題	<p>○地方回帰の機運の高まりにより移住に関心のある人が増えるとともに、各自治体間の競争も激しくなっているため、より効果的に長野地域に呼び込むための施策が必要。  <small>(※地方移住への関心(東京圏在住者)【全年齢】R元.12:25.1%→R4.6:34.2%【20代】R元.12:32.1%→R4.6:45.2%「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」より)</small></p> <p>○移住政策については各市町村ごとに取り組んでいるが、長野地域全体の魅力や、長野地域の暮らしの特色を包括的に伝える移住促進媒体がない。</p> <p>○昨年度実施した「移住アイデアソン」や今年度実施した管内市町村向けアンケート等では「長野地域全体での移住促進の底上げが必要」「移住者・UIJターン者の目線に立って本当に知りたい情報を伝えてくれるパンフレット等が必要」「いいことやあるものばかりではなく、ないもの・大変なことなど地方暮らしのありのままを伝えることも重要」「『長野地域全体で「あるもの・ないもの」を補完できる』ことが分かる圏域目線での魅力PRが必要」との意見が多く見られたため、その課題感に対して施策を講じる必要がある。</p>					
	内容 (変更後の内容)	<p>移住希望者に「長野地域の魅力や暮らし」「長野地域との関わり方、住み方」の勘所を伝える「長野地域 移住虎の巻」を、移住者・UIJターン者、おためしナガノ参加者、地域おこし協力隊、市町村移住担当者等と意見交換を交えながら協働して作り上げ、実際の移住セミナーや各webサイト等で広く活用し、オンライン・紙媒体の両面から情報を発信。</p> <p>○「移住虎の巻 合同コンテンツ大会議」の開催        移住に携わる様々な参加者による意見交換を行い、移住者の生の声や「長野地域のありのままの情報」等の素材を収集するとともに、「移住虎の巻」に掲載するコンテンツの内容について検討した。        ・日時 令和4年10月29日(土)13時～17時        ・場所 県長野合同庁舎5階 501～503会議室        ・参加者 20名(移住・UIJターン者、おためしナガノ参加者、地域おこし協力隊、大学生、市町村移住担当者等)        ・全体コーディネート (株)ふるしきや 田村英彦氏、KAYAKURA 伊藤雅人氏</p> <p>○「移住虎の巻」の制作及び活用        冊子パンフレット及びオンライン用パンフレットを制作し、webサイト等に掲載する他、移住セミナーで活用した。        ※冊子 A4カラー/中綴じ8ページ/2,000部        【活用場所】長野地域連携中枢都市圏 移住セミナー(1月、3月)        【オンラインパンフレットの活用】長野地域振興局HP、各移住オンラインセミナー等        【冊子配布】管内市町村、東京・名古屋・大阪事務所、銀座NAGANO、ふるさと回帰センター 等</p>					
事業期間	R4. 4		～		R5. 3		
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考			
	「移住虎の巻 合同コンテンツ大会議」の開催	参加者謝礼	34,000	○報償費 ・学生 @2,000×2名 ・移住者等 @5,000×6名			
	・「移住虎の巻 合同コンテンツ大会議」の開催 ・「移住虎の巻」の制作(オンライン版)	業務委託	605,000	○委託料 「移住虎の巻」全体コーディネート等 550,000円×1.1			
「移住虎の巻」の制作(冊子パンフレット)	冊子印刷	56,100	○需用費(仕様は内容に記載) @25.5×2,000部×1.1				
合計		695,100					

指標及び達成状況	成果指標	目標値	成果	達成状況	
	会議参加者数	20人	20人	○ 達成 ● 一部達成 ○ 未達成	
	会議での意見(生の声) コンテンツ反映件数	10アイデア	96アイデア		
	【虎の巻 冊子】セミナー等における活用件数(冊子)	3件	11件		
	【虎の巻オンラインパンフ】外部webサイトでの活用件数	5件	1件		
事業実績・成果	<p>○「移住虎の巻 合同コンテンツ大会議」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住・UIターン経験者、ゲストハウス経営者、移住案内人、大学生、おためしナガノ参加者、市町村移住担当者等、長野地域の移住に携わる方を集め、移住者目線に立ったパンフレットである「移住 虎の巻」に掲載する内容や具体的なコンテンツについて、意見交換やアイデアのほか、編集及び構成の検討も実施した。</li> <li>・全体コーディネートは(株)ふるしきやの田村英彦氏、KAYAKURAの伊藤雅人氏に依頼。パンフレット制作チームであるSkima信州の山本氏やタカギデザインの高城氏にも同席いただき、参加者全体でパンフレット素案を作り上げた。</li> </ul> <p>○「移住虎の巻」の制作及び活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な形のセミナーで活用できるよう、オンラインパンフレット版と冊子版を制作。市町村担当者から提供された情報・写真を盛り込み、「合同コンテンツ大会議」での意見を多数取り入れたパンフレットとした。</li> <li>・長野地域連携中枢都市圏主催の移住セミナー(1/21、3/21)で活用したほか、市町村移住窓口や銀座NAGANO、ふるさと回帰センター等に配架。地域の移住案内拠点にも設置協力いただく等、移住・二地域居住に興味のある方が集まる場所からの発信を行った。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆これまで主には各市町村ごとに取り組んできた移住推進政策について、市町村や各地域の移住に携わる者が協働しながら「『長野地域』への移住の魅力」を考える場を創出したことで、地域全体としての移住推進活動の連携向上・効率化につながった。</li> <li>◆長野地域の暮らしの特色を包括的に伝える新たな移住促進ツール(虎の巻)を制作し、活用につなげたことで、長野地域全体における移住の魅力発信力が強化された。</li> </ul> <p>○虎の巻で、より長野地域への移住を具体的に検討した人数:約20名</p> <p>→移住セミナー等における虎の巻の活用により、「どの市町村に移住するか」だけでなく、「長野地域」における具体的な暮らしのイメージを明確にすることで、より本格的な移住先としての検討や魅力の発信につなげた。</p> <p>○取材件数 2件</p> <p>→虎の巻制作・発信の過程でメディアから取材(新聞掲載)があり、より広範な魅力発信につながった。</p>				
	今後の方向性	制作した「移住 虎の巻」を広く活用していくとともに、引き続き市町村と連携しながら長野地域の魅力発信・移住推進に取り組む。			